

在宅医療に関わる皆様へ

多職種連携会 のご提案



褥瘡・創傷などのテーマはいかがでしょうか？

■ 開催目的

「顔の見える関係づくり」が大切と言われている多職種連携ですが、「いつでも・誰でも・簡単に」繋がるといったコンセプトで褥瘡・創傷をテーマにS+Nでは多職種連携会のお手伝いをしております。薬剤～創傷被覆材～局所陰圧閉鎖療法～スキンケアまでラインナップがありますので、お客様のニーズに合わせた内容で、オンラインや現地開催など施設様のご要望に応じたプログラムを準備致します。

■ オンライン/事例紹介① * 連携先との関係作り

目的：連携訪問看護ステーションのスキルアップ（臨床知識や医療機関が使用する製品特性の理解）

方法：オンライン（Zoom）参加費無料

人数：申し込み150名、内当日参加が110名

内容：医師から褥瘡の基礎知識の講義・訪問看護ステーションから症例検討

S+Nから創傷被覆材や局所陰圧閉鎖療法の保険制度について情報提供

効果：褥瘡処置への指示がスムーズになった。看護師からの処置方法の提案も増えた。

■ 現地開催/事例紹介② * 新規開業時、連携ネットワーク構築

目的：クリニックの信念や自院の専門性や治療戦略を知って欲しい

方法：クリニックの会議室にて現地開催

人数：エリアを絞り、申し込み30名、うち当日参加が28名

内容：医師からクリニックの紹介と、褥瘡の基礎知識の講義

実際に創傷関連製品を触ってのワークショップ

効果：直接「はじめまして」の挨拶から名刺交換会を実施。その後、ケアマネや訪問看護STからの相談が2件。連携ネットワーク構築に役立った。

■ 勉強会コンテンツ * 弊社所属の皮膚・排泄ケア認定看護師からの講義も可能です

◆ 製品のワークショップと使い分け（30分）

在宅でよく使用される薬剤・創傷被覆材の使い分け・保険制度について製品を実際に手を取りながらご説明します。

◆ スキンケア（皮膚裂傷）を知ろう！（20分）

スキンケアの管理方法について、ベストプラクティスを交えて解説いたします。

◆ ガイドラインに基づいた褥瘡局所治療を知ろう！（30分）

褥瘡がなぜ治らないのか？ どうしたら早く治るのか？ について、ガイドラインの推奨を学びつつ、臨床での具体的な処置方法もお伝えします。

また実際に役に立つ、褥瘡管理製品の保険請求についてもご案内いたします。

◆ 治りにくい創傷へのアプローチ（30分）

ポケットや治癒遅延している症例への効果的なアプローチについて解説いたします。

◆ DESIGN-R[®] 2020を極めよう！（ケーススタディ入り）（30分）

2020年2月にDESIGN-Rが改定されたのはご存知でしょうか。

「深部損傷褥瘡（DTI）疑い」、「臨界的定着疑い」が追加されました。

変更点を分かりやすくお伝えします。

■ ワークショップ[°]

- ① お尻モデルを使用した洗浄方法と実践を体験
- ② 創傷被覆材の使用方法和選択に失敗しないコツ！
- ③ 局所陰圧閉鎖療法のデモや貼付工夫例



* 開催にあたってはご施設様とお打合せの上、進めさせていただいております。ご相談は担当者へご連絡下さい。

スミス・アンド・ニュー株式会社 wound management 事業部

地域連携推進グループ 伊藤 瑛美

電話：070-1294-9160

Email：emi.ito@smith-nephew.com

